

ほぼ月刊 桑名歴史こぼなし

Vol.5 2019年7月1日発行

編集・発行：©社会福祉法人 桑名市社会福祉協議会 文化スポーツ振興課 TEL0594-22-8311

＜競泳日本代表を育成する田中穂徳＞

近畿大学（大阪府東大阪市小若江）水上競技部は、昭和30（1955）年の創部以来、現在に至るまで寺川綾（1984～）など6人のメダリストを含む多くの日本代表選手を輩出してきました。平成26（2014）年10月に同部のコーチ、監督を経て副部長に就任したのが桑名市出身の田中穂徳（1966～、ゆきのり、以下敬称略）です。

昭和41（1966）年4月5日に桑名市稗田に生まれ、生後間もなく堤原に転居して長寿保育園（平成30（2018）年7月1日に長寿認定こども園となりました）に通い、長寿院（北寺町）で少林寺拳法を習いました。その後、新築町に移って精義幼稚園（平成29（2017）年4月1日に光風幼稚園となりました）、精義小学校に通いました。低学年の頃は常信寺（南寺町）境内で蝉やカマキリといった昆虫を採取し、本統寺（北寺町）境内ではかくれんぼ、老松公園（三栄町）では自転車レースをするなどして遊び回ったといいます。また、桑名市勤労青少年ホーム（鍛冶町、平成27（2015）年3月31日廃止）で剣道を習い、少年野球チーム精義パワーズにも所属していました。

＜水泳との出会い～桑名水泳クラブ～＞

幼少期は父とともに度会郡南島町（現在の南伊勢町）を度々訪ねて海水浴に親しみ、長島温泉（桑名市長島町浦安）のジャンボ海水プールにも通いました。小学校5年生になると明正中学校のプールで活動する徳力周世（1939～、しゅうせい）主宰の桑名水泳クラブに入会して本格的に水泳を始めました。昭和34（1959）年8月18日竣工のプールには温水設備はなく、冬場は十分な練習が行えない中、着実に実力を伸ばして昭和53（1978）年3月に開催された全国JOCジュニアオリンピックカップ春季大会50m自由形では全国3位の成績をおさめました。光風中学校時代も水泳の練習に励み、卒業後は水泳の強豪近畿大学附属高等学校（東大阪市若江西新町）へと進みました。

近畿大学東大阪キャンパス西門
（大阪府東大阪市・学校法人近畿大学提供）

改修工事が完了した桑名水泳クラブの活動場所
（明正町・明正中学校プール）



<近畿大学での活躍とソウルオリンピック出場>

高等学校在学中はイトマンスイミングスクール東大阪校（東大阪市御厨南）にも所属し、昭和 57（1982）年の第 5 回**全国 J O C ジュニアオリンピック夏季大会**において 100m自由形で優勝、続く昭和 58（1983）年の第 6 回大会では 100m自由形と 200m自由形で優勝、さらに同年の第 51 回**全国高等学校総合体育大会**（通称日本高等学校選手権）水泳競技大会 100m自由形でも優勝するなど好成績をのこしました。

近畿大学商経学部経営学科に進むとバタフライに転向し、昭和 61（1986）年の第 62 回**日本選手権水泳競技大会**男子 200m では 2 分 2 秒 12 の**日本記録**で優勝しました。同年 9 月から 10 月にかけてソウルで開催された第 10 回**アジア競技大会**（通称アジア大会）200mでは当初トップにいたものの、175m付近でライバルである**早稲田大学の佐藤浩志**（1966～）に抜かれて惜しくも優勝を逃しました。さらに昭和 62（1987）年の第 63 回**日本選手権水泳競技大会**の 100mと 200m、第 64 回大会の 100mでも優勝しました。そして、昭和 63（1988）年 9 月にソウルで開催された**第 24 回オリンピック競技大会**には 100mバタフライ日本代表として出場しましたが、予選突破はなりませんでした。



<今も続く桑名とのかかわり>

平成元（1989）年 4 月、大学卒業とともに近畿大学の職員となり、現在はキャリアセンター次長を務めています。同時に**日本水泳連盟**（東京都渋谷区）アスリート委員会委員、**日本オリンピックズ協会**代議員なども務めてスポーツ振興にも取り組んでいます。一方でかなりの食通としても知られ、大阪の名店はもちろん、桑名でお気に入りの料理店を友人らに紹介し、桑名の食材を勧めるなど、食を通じた桑名の宣伝にも取り組んでいます。

平成 17（2005）年 8 月 3 日には**桑名市総合運動公園**（現在の NTN 総合運動公園）に手形と「**泰泳**」の書の銘板が建立されました。「泰」は大らかでゆったりした様を意味するので、競い合う泳ぎではなく、安らかで大らかな泳ぎといった意味が適当でしょうか。

平成 29（2017）年 8 月 13 日に放映された BS 日テレの番組「**挑戦へのエール～Challenge Stories Next～**」では、ロンドンオリンピック銀メダリストの**松田文志**（1984～）が明正中学校を訪れ、桑名水泳クラブのこども達に水泳を指導する様子が放送されました。この撮影は同年 6 月と 7 月に行われ、松田選手と親交のある田中穂徳の紹介から実現したものでした。平成 30（2018）年 12 月には老朽化した明正中学校プールの屋根が取り払われることとなり、田中穂徳臨席のもと解体式が行われ、令和元（2019）年 6 月に工事が完了しました。

本紙取材には「**大阪に住む今の方が、当時より桑名愛が増しているように思います**」と語り、現在も**石取祭**や**桑名水郷花火大会**に合わせて桑名に度々帰省するなど、桑名との深いつながりが続いています。

田中穂徳筆「泰泳」及び手形銘板碑
（芳ヶ崎・NTN総合運動公園）

